

令和7年度 とうきょうすくわくプログラムの取り組み 第2回・第3回

自然と光 5歳児

令和8年1月16日(金)・1月30日(金)

年長児すみれ組

前回の活動では、OHPの機器とスクリーンを用いて、子どもたちが描いた作品を光と関連付けて活動を行いました。自分が描いた花の絵がスクリーンに映し出されると、自分や友達の花の絵のすてきなところを教師や友達に伝えていました。また、OHPの光を介して、幼児の姿がスクリーンに映し出されると、「僕の影が映っている！」と影となっている自分の姿を面白い様子が見られました。

今回の活動では、光への興味関心が高まっている幼児の姿を踏まえ、園庭にある自然物に加え、卓上ライトやライトテーブルを用いた活動を行うことにしました。自然物と光が合わさることで、どのような幼児の探究活動が見られるのかを探ることにしました。



○1グループ 3~4名 30分ずつ程度で実施

1 園庭でいろいろな自然物を見付けよう！

園庭にある自然物を探しに行きました。「大きな葉っぱを見つけたよ！」「なんか面白い形のものが落ちている。」など、いろいろな自然物を見付けることを面白がっていました。



2 見つけた自然物を使って遊んでみよう！

自分たちで見つけた自然物(木の枝や綿、石など)や卓上ライトを使って、自由に遊び始めました。「お餅つきみたい！」と自分たちがこれまで経験してきたことに見立てる姿が多く見られました。また、木の実の固さや葉の匂いなど、様々な感覚を使って自然物と関わる姿がありました。



3 ライトテーブルの上ではどうなる？

予め設定しておいたライトテーブルに興味を示す幼児が多く、ライトテーブルの上に自然物を乗せて遊び始める姿が見られました。「葉っぱと葉っぱが重なっている。」「花びらの色が変わって見えるよ。」など、木の板や土の上では見られなかった自然物の新たな一面に気付く様子がありました。自然物と光を融合させる面白さを感じていた様子でした。



4 みんなの気づきを共有しよう

一人ひとりが感じたこと、気付いたことを、大型スクリーンを使って発表したり、実際に自然物を使って伝えたりする時間を設けました。「僕は〇〇のように見えるよ。」「確かに！その通りだね。」など、自分の思いを伝えたり友達の考えを受け入れたりする姿が見られました。

